

令和3年度事業検証結果(地方創生推進交付金関係)

事業名：中心市街地活性化事業
評価者：平塚市産業活性化推進会議
評価日：令和4年3月18日

評価項目	進捗度合
意見交換会の実施	4.8
活性化事業の検討・実施	4.6
空き店舗対策の実施	4.4
再開発の検討	3.5

進捗度合凡例 5：順調 3：やや順調 1：遅延（委員評価の平均値を採用）
評価委員数 8名

委員コメント

- ・各種事業につきましてご説明いただき理解することができました。再開発につきましては、商工会議所でも委員会設置し検討しております。平塚市さんにおかれましても、優先順位を上げて取り組んでいただければと思います。
- ・コロナ禍において、工夫しながら活動していることが確認できました。
- ・様々な課題について、連携して取り組んでいきたいと思います。
- ・農家の高齢化や担い手不足があり、スマートライスセンターの創設により、農地の集積や荒廃地の増加を防ぎ地域農業を支える施設となるので今後も支援をお願いします。
- ・コロナ禍でしたが、前向きに取り組みをすすめていると感じた。多くの人々が関わり、更なる展開を期待したい。
- ・コロナの中で実施されている各事業が、工夫されながら平塚市として前進していることを実感しました。
- ・KPI①～④の業務進捗は、順調であると判断した。但し、平塚市周辺地区活性化を考える上で、地域住民の能動的な参加を促す仕組みが重要と考える。社会課題の解決と経済活動の両立は、今後必須事項である。意見交換会の活発化、社会実装化を切に願う。又、自身、中小企業のDX化を側面からサポートしていければと思います。その為には、DXを理解し、推進出来る人材育成、教育が必要となる。DX推進は、「人のDX化」にかかっている。